

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103854
法人名	医療法人ビハラー 藤原胃腸科
事業所名	グループホーム アショカ
所在地	松山市南吉田町9 6 4 番地
自己評価作成日	平成21年11月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

スタッフが、日々のケアの中で、認知症ケアの理念・事業所の理念に基づき、疑問点などを話し合い、入居者がよりよい生活ができるように、環境づくりに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、この一年間、「地域とのつながりを作ること」に力を入れて取り組まれており、小学校の運動会を見学に行かれ、校長先生との交流がきっかけとなり、小学生の福祉体験の受け入れにつながっている。利用者の方達が小学生とふれ合ったことが、利用者の意欲向上につながり、利用者が自ら希望を言うような姿も見られるようになったようである。近隣の方とはフェンス越しにおしゃべりされたり、雛人形を譲ってもらったり、畑作りを協力していただいている。管理者は、地域に向けて「勇気を出して事業所側が1歩踏み出すことでつながりができた」と話されていた。

介護計画とは別に、「ご本人の願いを叶えるプラン」を作成されており、「温泉に行きたい」というようなご本人からの希望を叶えられるよう、計画を立てて支援されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム アショカ

(ユニット名) 日輪

記入者(管理者)

氏名 高橋 正子

評価完了日

平成21年10月15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事業所理念を各ユニット入り口に掲示しており、スタッフが、いつでも見れるようになっている。スタッフ全員が日々のケアで実践できるように努めている。	
			(外部評価) 事業所では「一人ひとりの思いを汲み取って生活を豊かに」「人としてあたりまえの関わりを支援」と理念に揚げておられ、又、行動指針や月目標を立て、日々実践できるよう取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ホームでの花火大会への地域の方々の参加・まもるくんの家・中庭の手入れ・ちぎり絵・コーラス・防災訓練など、地域ボランティアとの交流が進み、良い環境になりつつある。又、地域清掃や、小学校の運動会に参加もした。法人としては、地域フォーラムを開催して、地域の中での相互関係が出来つつある。	
			(外部評価) 事業所では、この一年間、「地域とのつながりを作る」に力を入れて取り組まれており、小学校の運動会を見学に行かれ、校長先生との交流がきっかけとなり、小学生の福祉体験の受け入れにつながっている。利用者の方達が小学生とふれ合ったことが、利用者の意欲向上につながり、利用者が自ら希望を言うような姿も見られるようになったようである。近隣の方とはフェンス越しにおしゃべりされたり、雛人形を譲ってもらったり、畑作りを協力していただいている。管理者は、地域に向けて「勇気を出して事業所側が1歩踏み出すことでつながりができた」と話されていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会や、地域フォーラム・公民館での認知症予防講座などで、認知症の理解・ケアの方法を地域の人に理解していただき、バリアがなくなっていくよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に1回必ず行き、きちんとした意見交換ができており、その後のケアに活かされてきている。</p> <p>(外部評価) 会議では、地域の方から行事等の情報を教えていただいたり、事業所の取り組みを報告して質問等に答えておられる。又、法人代表者である医師が必ず出席され「新型インフルエンザについて」や「高齢者の運転免許証の更新について」等、毎回、テーマを変えてお話をしてくださっている。会議時、利用者も参加されており、発言されることでご本人の自信の回復につながったようである。</p>	<p>会議に参加してくださる方々の協力を得て、地域の人と人がつながり、協力の輪が広がってきているようである。管理者は、今後さらに、地域の人達のお力も借りながら取り組みをすすめていきたいと考えておられた。現在、ご家族の会議の案内は、おひとりの方に声をかけておられるようであるが、今後、ご家族の参加を増やしてご意見をうかがっていきたいと考えておられた。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会への参加や、日常の業務を通じて、必要時には連絡を取り合い、情報提供や協力をし合っている。</p> <p>(外部評価) 地域包括支援センターの担当者の方から地域住民の情報を得て、相談しながら傾聴ボランティア等を受け入れられたり、又、管理者は、センターからの相談を受けて、地区の集会所の「認知症予防教室」でお話をされた。さらに、認知症介護の指導者として県内外で講師を務められ、認知症ケアの向上に貢献されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアが徹底できている。</p> <p>(外部評価) 職員は、法人内の研修等で「身体拘束」について勉強をされている。ユニットによっては、現在、利用者が落ち着かない様子でもあり、職員が利用者の居室内でケアをされていたり、トイレ介助にかかわるような時にのみ、利用者の安全を守るためにユニット出入口に鍵をかけるようにされている。利用者のベッドから降りる足元には、センサーマットを敷いておられる。</p>	<p>管理者は、今後、利用者が不安定な時には、見守りと職員同士の声かけの工夫で鍵をかけなくても済むよう、取り組んでいきたいと考えておられる。この機会に、利用者の自由と安全を守る取り組みについて、すべての職員で話し合ってみてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 法人内の研修で、高齢者虐待防止法を学ぶ機会を持ち、自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように、徹底されている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者と一部のスタッフは、日常生活自立支援事業や成年後見制度について熟知している。今後、法人内で研修会の機会を設ける予定である。必要時には、関係者に説明をするようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入退居時の契約の締結・解約には、管理者が対応しており、利用者やご家族の不安や疑問点を訪ね、十分な理解ができるように、説明をしている。介護保険の改定の際には、文書・又、面会時や電話にて、説明するようにしている。タイミングがあれば、家族会にて説明したいと考えている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 年2回の家族会で、スタッフは席をはずし、後で代表の方より伝えていただくという方法で、要望・ご意見を求めている。又、日常的にも、ご意見がいただきやすいように、声かけをさせていただいている。できるだけ意見を運営に反映できるように、努力している。 (外部評価) 法人内の2つのグループホーム合同で便りを発行されており、11月で89号目となっている。ユニット入口には、新人職員の紹介を写真付きで掲示されたり、ご家族が来訪された際には新人職員はあいさつされている。評価機関から送付する家族アンケート集計表を用いて、ご家族の思いや要望の把握に努めておられる。	家族会を年に2回開催されているが、現在、ご家族からご意見等をいただくことは少ないようである。今後、管理者は、事業所のサービスについて、具体的に問いかける等、ご意見を引き出せるよう、働きかけを工夫していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回のミーティングで、いろいろ意見交換している。日常的にも、意見交換がしやすいように、雰囲気づくりや、人間関係に気をつけている。意見交換して、出来る限り、スタッフの声を運営に反映できるように、努力している。	
			(外部評価) 管理者やユニットリーダーは、職員によく声をかけて、悩みや不安を聞き取り、メンタル面でもサポートされている。2か月ごとの法人内研修は、年間計画を立てて取り組まれており、事前に職員の受けた研修の希望を聞いて採り入れてもらえるようになっている。又、事業所のカンファレンス時、職員の勉強会をされたり、法人内の相互研修等も行う予定となっていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) スタッフが、やりがいを持って、生き生きと働けるように、出来る限りの努力をしている。	
			(外部評価) スタッフが、やりがいを持って、生き生きと働けるように、出来る限りの努力をしている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 2ヶ月に1回、法人内研修を行っている。その他にも、それぞれスタッフの適性に応じた研修参加を呼びかけている。	
			(外部評価) 2ヶ月に1回、法人内研修を行っている。その他にも、それぞれスタッフの適性に応じた研修参加を呼びかけている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 認知症介護リーダー養成研修の受け入れや、相互研修を通じて、意見交換や情報の収集を行い、サービスの質が向上するように努めている。	
			(外部評価) 認知症介護リーダー養成研修の受け入れや、相互研修を通じて、意見交換や情報の収集を行い、サービスの質が向上するように努めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 担当スタッフ・リーダー・管理者が連携を取り、中心となって、本人とコミュニケーションを多くとり、不安や要望を把握できるように努めている。	
			(外部評価) 担当スタッフ・リーダー・管理者が連携を取り、中心となって、本人とコミュニケーションを多くとり、不安や要望を把握できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サービス開始の段階でのご家族の要望をお聞きし、不安が軽減できるように努めている。又、困っていることや、要望が言えるような関係づくりにも、サービス開始以前から、努力をしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サービス利用前のアセスメントを基に、「その時」必要な支援が提供できるように努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>お互いに、寄り添う関係を築いていると思う。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族を支援される一方の立場におかず、本人を共に支えていく関係が築かれている。外出・誕生会・時々家事参加もしていただき、家族との絆を大切にしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>親戚・友人などにゆっくりと会いに出かけていくことは、今は稀である。外出時に立ち寄ったり、電話や手紙などで連絡が取れるように支援している。今後、より努力したい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>外出時にご兄弟のところに寄ってみられることもある。お孫さんが写っている大判の写真を居室の壁に何枚も貼っておられる方やベッドの枕元に写真を置いておられる方もあり、顔を覚えていられるよう支援されている。ご夫婦で入居されている方には、夫婦で過ごす時間を大切にされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者同士で、小さなトラブルとなることもあるが、一人ひとりが孤立しないように、スタッフが声かけを行い、関係が修復するように働きかけをすることもあ。気の合う方々で、同じテーブルにて過ごしたり、気分転換に外出支援することもある。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 死亡により退去となった方へ、写真をお送りしたり、グリーフケアに努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、希望・意向を把握できるよう努めている。 (外部評価) 事業所では、この一年「個別ケア」に向けて、利用者個々の思いを探ることに力を入れて取り組まれた。センター方式のアセスメント書式を用いて、ご本人の現在の希望等を書き留めておられた。又、日々の「ケース記録」には、「利用者の訴え」「職員の対応」「その後の様子」等を記入する欄が設けてあり、ご本人の言葉をそのままに記入して、利用者個々の思いの把握に努めておられる。	管理者は、今後さらに、職員のご本人への問いかけや働きかけの工夫を重ねて、ご本人の希望や思いを引き出し、ケアにつなげていきたいと考えておられた。又、「利用者とゆっくり過ごすような時間を作ることに努めていきたい」と話しておられた。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントシートから理解したり、本人・家族との関わりの中で把握できるように努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その人その人の、心身の状態に配慮しながら、有する力が発揮できるよう、リズムを大切にケアが行われている。スタッフ間で記録に残し、情報共有しながら、入居されている方の、現状の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その都度、本人・家族・スタッフでよく話し合いができており、適性な介護計画の作成に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は3カ月ごとに見直しをされている。日々の「ケース記録」から、ご本人の思いや意向を拾い出し、職員の気付きと、ご家族の来訪時やお電話で聞き取った要望を「立案シート」の5つの視点に沿って書き出して、介護計画を作成されている。介護計画とは別に、「ご本人の願いを叶えるプラン」を作成されており、「温泉に行きたい」というようなご本人からの希望を叶えられるよう、計画を立てて支援されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>実践結果は、きちんと記入し、職員間で情報の共有ができるよう、気づきや工夫の点にアンダーラインをひき、介護計画の見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その時々生まれるニーズに対して、柔軟に対応できるように、検討しながら取り組んでいこうとしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりが、楽しみを持ちながら生活できるように、ピアノ・ちぎり絵のボランティアの方に来ていただいている。又、訪問マッサージの方にも来ていただいている。小学校の運動会を観に行ったり、商店に買物に行ったり、公園に散歩に行ったりしている。地域の自主防災班の方々にもアドバイスをいただいた。今後もできる限り、地域資源を活用していきたいと考えている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>母体の病院や、以前からのかかりつけ医などの医療 が、受けられるよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>訪問マッサージを利用されている方もある。調査訪問 時、退院された利用者があり、母体法人の医師が様子 を見に来ておられた。24時間いつでも医師と連絡が 取れるようになっており、又、いつでも相談できる体 制となっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職場内の看護師に伝えて相談し、個々の利用者が適切 な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人が安心して治療できるように、又、できるだけ早 期に退院できるように、母体病院・関係病院と、連絡 を密に取りながら、支援している。又、病院関係者との 関係作りに努めている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>重度化・終末期の過ごし方やケアについては、本人・ 家族と、医師を交えて話し合いを行っている。事業所 でできることを説明し・同意を得て、チーム情報を共 有し、ケアにあたっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族は「事業所で最期までお願いしたい」と希望さ れる方も多くある。又、ご本人の希望にも応じて、事 業所では看取りまで支援できるような体制を作ってお られる。職員も、方針を理解して取り組まれており、 法人内研修等でも勉強を重ねておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的には行えていないが、研修等は実施している。又、日々のケアの中で、実践力を身に付けている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回、避難訓練を実施している。初期消火・重度の方の避難の方法・消火器の使い方・など、全職員に身につけてもらっている。地域の民生委員・自主防災班などへの連絡網も整備でき、訓練時も協力を得ている。	
			(外部評価) 避難訓練には、地域の方も参加いただき実施された。消防署の協力も得て水消火器を使って実際に消火訓練等もされた。地域の方達も含めた緊急時の連絡網を作られ、利用者が中庭に避難した際の誘導を地域の方をお願いされている。いざという時の避難のために「居室で横になって長時間過ごされている方にはタンカがあったらいい」と地域の方から毛布と竹で作るタンカを教えていただき、山で採って来てくださった竹を居室に置いておられる。22年度にはスプリンクラーを設置する予定となっていた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 研修等で対応の仕方を学んでおり、個々に合った対応や自尊心を傷つけない言葉かけや対応を心がけている。	
			(外部評価) 事業所では「家庭的な雰囲気作り」を目指しておられる。職員は、「利用者との距離が近く、家族のような関係」と感じておられる。利用者の呼び方に関してもご本人の希望やご家族の了解を得て「ちゃん」と呼ばれることもある。	職員は、親しみを込めて利用者をお呼んでおられるが、時に、「馴れ馴れしくなっているのではないか」と感じることもあるようである。この機会にご本人の立場に立って、すべての職員で意見交換されてみてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ご自分で思いや希望を表すことのできる方に対しては、できるだけご自分で決めて頂けるような声かけをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り、本人の希望を聞くようにしているが、全部希望どおりにいかない難しさを感じている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 散髪・お化粧品やマニキュアなど、外出やイベントの時ばかりでなく、日常から支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえ・盛り付け・食器の片付け等、一緒に行っている。おやつを一緒に作ることも多い。 (外部評価) 職員が順番で、利用者の好みを聞き取り、過去の献立表等も参考にしながら1週間分ずつ献立を立てておられる。食事担当の職員がおられ、買物等もされている。畑でネギや春菊を摘んで使われることもある。テーブルにとろみ剤が用意されており、必要に応じて職員がとろみで調節しながらご本人が食べやすいよう支援されていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) Dr.の指示に応じて一人ひとりに適切な栄養バランス・水分量を確保できるように支援している。少ない方はチェック表を作り、必要量が摂取できているか、把握している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、歯磨き・義歯の洗浄・うがいによって、清潔保持に努め、夜間は義歯の消毒を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			自立に向けて支援しているが、入居者の重度化が進むにつれて、困難になってきている。1人ひとりの排泄パターンを把握して誘導している。	
			(外部評価)	
			下着を洗って居室に干される方もいる。昼間は布パンツにパットを利用して、できるだけトイレで排泄できるよう誘導されている。職員は、外出の前や後等、タイミングやご本人の気分等を見ながらトイレに誘うよう工夫をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			Dr.と連携をとり、一人ひとりにあった内容で工夫(牛乳・水分)できている。	
			(外部評価)	
			個々に応じた支援はできておらず、スタッフの都合優先にしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			個々に応じた支援はできておらず、スタッフの都合優先にしている。	
			(外部評価)	
			ご自分で入浴される方はいつでも入れるようになっている。入浴時、職員は、好きな歌を一緒に歌ったり、ご本人の関心のあるようなお話を聞かせてもらったり、入浴剤を入れる等、ご本人が「気持ちいい」と思えるような支援に努めておられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			その方の生活習慣を大切に、室内に風を取り込んだり、冷暖房を調節しながら、時には体位変換等して、少しでの快適に過ごしてもらうよう工夫している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの薬の目的や副作用を理解できている。服薬の支援は飲み込むまでの確認をしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活に張り合いや喜びがあるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした家事をしていただいたり、行事・レクリエーションなどを楽しみ、気分転換ができるように支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 全員の方にはできてないが、出来る限り戸外に出られるように支援に努めている。また、普段はいけないような場所にも、本人の希望を把握し、担当スタッフと一緒に外出している。	
			(外部評価) 毎月、外出の計画を立てて石手寺や喫茶店等に出かけておられる。ご家族と外食やドライブに出かける方もある。又、お天気の良い日には、中庭で日向ぼっこやおやつを楽しまれたり、畑のお世話や洗濯物を干しに出られる方もある。10月は「外に出よう」と目標を立てて散歩等、日常生活の中で実践できるよう取り組まれた。	「一人ひとりの思いを汲み取って生活を豊かに」という理念にも沿って、ご家族とも相談しながら、利用者が地域の中に出かけ、さらに、利用者の生活をより豊かにできるよう工夫を重ねていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小銭を所持しておられる方はおられるが、本人の欲しいものは、事務所で預っているお金から購入している。一緒に買い物に行ったとき、本人の有する能力に応じて、本人に財布を渡し、本人が支払いできるように、支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば、支援できるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>フロアや廊下・居室には、季節の花や写真・置物がおいてあり、季節が感じられるようにしている。ロールスクリーンなどで、光の調節や、エアコンでの温度調節をし、居心地よく過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>畳の間の仏様のお供えもののお世話をしてくださる方もいる。アイランド型のキッチンで全面から食事作り等にかかわることができるようになっており、食器洗いが役目になっている利用者の方や洗った食器を拭いたり、戸棚に片づけられている方も見られた。今後、すべての利用者、職員で手分けして年末の大掃除を行う予定となっており、介護度重度の方にも号令をかけてもらう等の役割を持ってかかわっていただけるよう分担表を作り、貼っておられた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>テーブルやソファなどで調節している。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族ともよく相談し、入居時や状況に応じて使い慣れたものを持ってきてもらったりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>長時間ベッドで横になって過ごされる方には、希望をお聞きしながらテレビの音やラジオ、音楽等、耳で楽しむように支援されている。お仏壇に毎朝ご飯を供えたり、しきびの水替えをされる方もある。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の居室が判りやすいように、表札をつけたり、花などの目印をつけたりしている。又、できることが、よりできやすくなるように、食器の片付けができる方は、片付けやすい位置に座って頂いている。</p>	